

●令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」重点的に取り組む課題に応じた目標および達成状況

課題の類型 1	課題の類型 2	課題の詳細	左記課題の解決のために 本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	令和5年度 時点の数値	令和6年度 の目標値	令和6年度 の実績値
③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	学習方法が定着していない児童・生徒が増えており、学校の授業以外で学習を行うことに対する指導等が学校・家庭の共通の課題となっている。全国学力・学習状況調査において平均正答率【数学】が令和4年から令和5年にかけて6%上昇した。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域未来塾を実施し、児童・生徒の学習習慣の定着を目指す。 ・学習習慣の定着と基礎学力の向上・高等学校等への進学率の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き学習習慣が身に付いていない生徒を対象とした地域未来塾を実施し、学習支援を行う。 ・引き続き学習習慣の定着と基礎学力の向上・高等学校等への進学率の向上を目指す。 	学校以外で日常的に学習を行う生徒が増え、基礎学力の向上がみられる。	全国学力・学習状況調査において平均正答率【数学】が向上する。	50%	48%
①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	児童・生徒が地域の伝統や文化について学ぶ機会が少なく、教員も異動等により指導の難しさが課題となっている。全国学力・学習状況調査の児童質問紙において【総合的な学習の時間】の肯定意見が7.6%上昇した。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材を積極的に活用し、地域の文化や歴史について児童・生徒が学ぶ機会を捻出することを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き積極的に地域人材を活用することにより、地域の文化や歴史について児童・生徒が学ぶ機会を捻出する。 	地域の歴史や文化を理解し、地域を支える人材を育成する。	全国学力・学習状況調査の児童質問紙において【総合的な学習の時間】の肯定意見が向上する。	80%	79.5%